

ハイ・ベック タイムズ

Best Eco Cleaning

編集
発行

株式会社サンワード
<http://www.sunward.co.jp/>

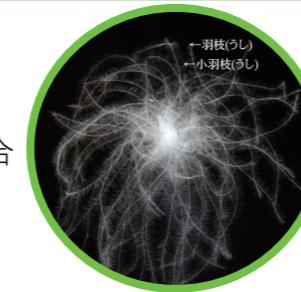
お洗濯の新常識。 お洗濯で素材の力が よみがえる!?

防寒着として気軽に着用できるダウンジャケットやウールのニット。軽くて暖かいことから、どのご家庭にも1人当たり1枚は必ず保有しているのではないでしょうか？着用頻度の高いダウンやウールですが、シーズンオフの衣替えの時にクリーニングするだけで大丈夫なのでしょうか？



ダウン

ダウンウェアの羽毛にはダウンとフェザーの2種類が使用されており、1つの羽毛の中でも羽枝、さらに小羽枝とあります。羽枝と小羽枝はお互いに絡み合わず反発し合う性質があるため、お互いの間に無数の小さな空間ができます。その空間に皮膚と衣類の間で温まった空気をたっぷり含むことで、冷たい外気をも遮断することができます。



ウール

コートやセーターなどのウールは、繊維の表面にスケールというウロコ状の組織が規則正しく重なり合った構成になっています。ウールは外気の変化に応じてスケールを開いたり閉じたりし、湿気を吸収したり放出したりすることにより、湿度を一定に保つ優れた特性を持っています。また、ウール繊維の1本1本にはクリンプという縮れがあります。ウールはクリンプのおかげで空気を含みやすく、この空気層が断熱材となるため、冬は冷たい空気を遮断して熱を逃がさず暖かく、夏には暑さを遮断する働きをします。ウールに含まれる空気の量は60%とも言われています。

では、衣類を長期間洗わずに着用し続けるとどうなるのでしょうか？

ウールは繊維の周囲に汚れが付着し、スケールを開けたり閉じたりができなくなります。また、ダウンやフェザーは羽枝や小羽枝が汚れによって固まり、本来のボリュームがなくなります。衣類は繊維本来の働きができなくなると、保温性や吸湿性などの機能性が弱まってしまいます。

他にも 悪い影響が…



- ◎通気性が悪くなる
- ◎垢や菌が付着して、虫食いやカビの原因になる
- ◎型崩れしやすくなる
- ◎光沢や色が悪くなる
- ◎痛みやすく、繊維も弱くなる

衣替えなど、衣類を長期間保管する前のクリーニングももちろん大切ですが、衣類の機能性や衛生面などからみると、やはり定期的なお洗濯が何よりも大切です。ハイベックならご家庭でおしゃれ着を簡単に洗えます。つけ込み洗いをすることでお洗濯時の衣類へのダメージを軽減し、購入時の風合いも守ります。ボトル1本でお洗濯約110回分。ダウン1枚約59円でお洗濯が可能です。これまでシーズンオフの前にクリーニングするだけだった衣類も、ハイベックで定期的にお洗濯をして汚れをスッキリ洗い流しましょう。シーズン中の衣類も通気性や保温性などを保ち、これから寒い季節も温かく過ごせます。お気に入りのおしゃれ着がずっと長持ち♪ハイベックのある生活で、新しい習慣の始まりです。



ベストセラーになった「7つの習慣」によると、パラダイムとは世の中の物事を見る時に基準となる考え方で、それがシフト、つまり転換することがパラダイムシフトであるとしています。大きい事でいえば、天動説から地動説など、科学の発展に伴い様々な考え方が転換されてきました。現在では人類が抱える様々な問題を解決するための「発想の転換」や「見方を変える」という意味で使われる事が多いようです。身近なお洗濯の歴史の中でも様々なパラダイムシフトが行われてきました。洗濯板とタライから二層式洗濯機、縦型全自动洗濯機、そしてドラム式洗濯機への転換。また、灰汁や石灰からの石鹼、粉末洗剤そして液体洗剤への転換。パラダイムとはその時代その環境、そしてそこに生きている人たちによって左右されるもので、でも汚れた服やシワのある服を着れば嫌な気持ちになります。しかし、赤ちゃんはおしめが汚れると泣き、綺麗になると笑顔になるように「清潔でいたい」という気持ちは、ずっと昔から私たちの中にあります。それでも汚れた服やシワのある服を着れば嫌な気持ちが良く、パリッとアイロンのかかった服を着ると自分自身が気持ち良いだけでなく、自分の価値や評価をあげることにもつながっています。いくと思います。

ハイベックもこの33年間の中で、石油系のドライ溶剤から植物系のドライ溶剤への転換、仕上げ剤の開発、ボディハンガーの開発など様々な転換がありました。しかし、その根底にあるものは「お客様に喜んで頂けるモノを作りました」という一貫した精神でした。私たちはこれからも変わらない信念のもとに、「ドライマーク衣類はドライクリーニングしかできない」から「ドライマークがついていればハイベックで洗うことができる」というパラダイムシフトを、より一層皆様に広めて参りたいと思います。

パラダイムシフト

ハイベックのお洗濯には“水”が必要不可欠です

まずは
ドライマークの確認!!

洗える	ドライ	ドライ セキユ系	P	F
衣類を購入する際にドライマークを確認すると良いですよ。	ドライ	ドライ セキユ系	P	F
お洗濯表示が付いていないものやドライマークが確認できないものもお洗濯できません。	ドライ	×	×	×

クリーニングに出したのに黄ばんでいる?!シミが残っている?!

ドライクリーニングはお水を使わないお洗濯方法で油性の汚れを落とす事を得意とします。襟元の黄ばみや飲料物のシミが残る原因の一つに水洗いが不十分で、汚れが残ってしまっている事があげられます。汗やジュース等の水溶性の汚れは“お水を使わなければ落とせない汚れ”なのです。

水洗い不可でもハイベックで洗って大丈夫?

本来は水洗いできないマークですが、汚れにはお水を使わなければ落とせない種類があることも事実です。ハイベックのお洗濯は、お水から受ける衣類への負担を抑える為、5分間という短いつけ込み洗いと、お水の中では触つたり動かしたりしないことが、風合いよく仕上げるポイントです。水溶性の汚れもしっかり落としていただく為に、大切な衣類はハイベックでのお洗濯をお勧めします。

*お洗濯の前には「お洗濯ガイド」をご参照下さい。

革手袋



雑巾みたいに絞ったり
乾燥機の使用はNG!

- ハイベック液に手を差し込んだまま短時間で洗う。
- しっかり水を取り、風通しが良い場所で陰干し！
- 乾く前に、数回手を差し込み軽くもむようにして形を整える。
- ツヤ・柔軟性を戻す為、ミンクオイルやハンドクリームを全体にすり込む！



ストール・マフラー



ウール・カシミヤ
素材は、虫食い注意！

- フリンジ部分が内側になるように置んで洗う。
- 脱水後は軽く振り、手のひらで叩いてシワをのばす。
- 干す時は、型崩れを防ぐ為、必ず平干し！
- アイロンの蒸気をあてた後に、毛並みや形を整える。

秋冬物アイテム

人工皮革

製造後1年～5年で
経時劣化します。

- ブラシ掛けは、こすらずに叩いてシミ抜き！
- 経時劣化させない為にも、より短時間のつけ置き洗いが原則！
- 干す時に、バスタオルで拭いて水気をとる！
- 乾燥機やアイロン掛けはしない。

